



## これで良いのか小鹿野町

森真太郎氏が町長就任してから4年経過しようとしています。その間、厳しい第三者の立場で公正・公明・公平の立場でオンブズマンとして行政・議会を監視してまいりました。結論として、役場が当然有るべき住民サービスをしているか疑問を感じる事項が沢山ありました。ある時は注意喚起、ある時は県庁・霞が関まで足を運び、行政の不作为・脱法行為について意見交換をして指摘をしてきましたが、森執行部で無視されることが多く、上

位行政機関（県）から違和感を持たれている現状です。  
 1 やすらぎの丘墓地許認可（反社会勢力に利益提供）  
 2 両神小学校給食施設無断譲渡未遂（知人利益誘導）  
 3 中学校武道場通路閉門（裁判所にて森町長発言）  
 4 長留川土砂崩落災害上田知事に隠蔽（熊谷地裁で被害者裁判中）  
 5 大和武神社転落事故隠蔽・無視（秩父裁判所で和解）  
 6 議員・知人不正採用（庁舎建て替え利権目的）  
 7 生活保護希望者を窓口にて門前払い。詳細は右欄

## 現町政では落札価格90%以上

地方自治法第2条第14項によれば「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に務めると共に、最小の経費で最大の効果が挙げられるようにしなければならない」と明記してあります。その目的達成の為に、入札制度があるのですが、私の見る限り森執行部の入札ではPB（プラン&ビルド）方式が経費削減と称しているが実態としては割高になっています。この行為は税金の無駄使いと解釈され、住民に不

利益をもたらしています。県では県民に疑念を持たれないように、公共事業については最低落札価格を70%に設定管理していますが、森町長になってからは落札価格が殆ど90%以上という異常な結果となっています。県では90%以上の落札については官製談合の懸念や贈収賄事件の温床になった過去の前例を鑑み、再入札をしています。上位行政機関を無視して、住民に不利益を及ぼす行為は厳に慎むべきと考えます。

## 広域水道加入時の虚偽説明

広域水道組合加入時、前町長と前広域事務長森真太郎氏の間で、広域水道と住民の直接契約に移行し、経営が不採算になった時に町が借金をして広域水道組合に充当する（起債注入）するとしていたが加入と同時に上納金のごとく毎年約7千万を注入を要求してきた。これに前町長は「話が違う・卑怯だ」として反発、1回目の起債注入を拒否し、勇退している。その後、森町長になり、2回分約1億4千万を起債し、広域水道に

上納している。私も広域議会傍聴・水道組合訪問し、説明を求めたが当初の説明との矛盾について部署内での責任転嫁しているばかりで時間稼ぎし、詰められるとまるで派遣元の秩父市職員に戻り、後は関係ないとの無責任な態度。終いには「秘守義務が有るから」と常套句、しかしそれは間違いです。秘守義務の前に住民に対する説明責任があり、嘘の説明をしたと云う事。

## 1.墓地許認可問題 右翼団体来庁抗議

令和3年1月12日当局より連絡があり右翼系の政治団体が秩父市役所と小鹿野町役場に街宣活動する旨の連絡があり追跡した。秩父庁舎では市議会議員の補欠選挙費に1千万使うのは無駄であるとの内容、小鹿野庁舎では、やすらぎの丘隣接地の墓地の許可を反社会勢力に利益誘導したと云う内容でした。謝罪する迄来る様な内容。

## 2.両神小給食施設 議会に無断譲渡

職員関係者に対して秘密裏に譲渡契約をしていた。内容が漏れ、説明を求めたところ、「行政瑕疵は無いと主張した」私は庁舎は住民の財産なのだから適正な手続きをするよう申し入れ、県庁にも相談した結果。文科省への補助金を返済中なので譲渡契約無効となる。指摘をしなければ違法行為を継続していた事になった。

## 3.中学校武道場柵 森町長が裁判所で言明

小鹿野中学校武道場通路の柵と門扉について森町長がさいたま地裁で「中学校武道場は町民武道場なので中学校施設では無い。だから門扉に鍵をして通路の門扉は開けない」との意思表示を示した為、開かずの門扉となってしまった。その判断をした事により。中学校武道場としてスポーツ庁より補助金4000万円の補助金詐欺状態になっている。

## 4.長留川土砂崩落 上田前知事に隠蔽

森町長就任直前に長留川崩落災害で2件の家が浸水、1件畑浸水がした。森町長就任直後に秩父環境事務所に対して「県庁には大事になるので秩父事務所内で処理するよう」要請、県職員は上田知事に報告することなく被害住民に県は関係ない旨通知した。私は上田前知事に直接連絡し、県境部長始め4人処分された。

## 5.大和武神社転落事故 1年間無視・裁判

3年前大和武神社の例大祭の前日、準備清掃作業していた住民が誤って小鹿野町管理下にある用水路に転落、脳挫傷3か所の重症になり一時生死の危険もあった。役場は連絡を受け用水路の蓋を設置したが、重傷になった住民を無視し1年間放置した。私は県土事務所・警察に相談し、民事として秩父裁判所に調停事案にして住民は和解金を受領した。

## 6.議員知人関係者 役場職員不正採用

森氏は議員の知人2名に職員不正採用しているとの情報があり調査した。1件は選挙の関係であり、1件は庁舎建て替えについての裏工作と推定される。社会通念上、収賄罪・職権濫用罪・背任罪に問われる行為である。「李下瓜田」税金で給料貰っている者は住民全体の奉仕者であることを自覚し、己の利得を優先してはならない。

## 7.生活保護希望者 禁断の窓口門前払

昨年、山間地の住民が福祉課を訪れ生活保護を申し込んだところ、断られたと連絡が入った。法律では例えば財産等があり対象外であっても希望を受け入れ書類を秩父福祉事務所に送付することになっている。私が秩父福祉事務所にその旨を説明し、直接秩父県福祉事務所に申し込み可能になった。町経由での個人情報漏洩する心配がなくなった。

## 生活保護手続き 扶養照会は任意

生活保護手続きするうえで精神的苦痛にもなる「三親等親族に対する扶養照会」について、私は厚生労働省に問題提起したところ、「コロナ禍で全国各地から問題視されている」との事で「親族に対する扶養照会は申し込み本人の意思を確認する」との通達が発信された。気兼ねなく秩父福祉事務所を訪ねてください。

## これでいいのか小鹿野町議会

森執行部になってからの議事を傍聴していて気になる事がある、議員の資質について勉強不足な印象がある。議員の役割は主権者である住民への福祉・民生サービスが公明・公正・公平に執行されるか？監視・指摘・助言することに尽きる。実際の議会は半数の議員が質問もしない、思考停止している様に見える、賛成の起立をするだけである。

議会歳費は約1億円議員給与を差し引いた残りのお金はどこに消えてしまうのか？町外視察・お手盛り視察報告余ったお金は懇親会と称してコンパニオン付き会食で税金を使っているようでは言語同断である。酒の席で淫乱な行為した議員も、看過していた町長・副町長・教育長・他議員も同罪である。森執行部・議員は無知蒙昧・未聞浅学である。

## 小鹿野町再生の重要事項

現状の小鹿野町森執行部・議会の解説しました。現状の小鹿野町なれ合い・もつれあい政治を乗り越えなければ消滅・合併して行きます。過疎化する地域は益々経費が削られ、生活環境が悪くなります。複雑怪奇な政治経済のなか何も考えない・安易な政治・行政をしているから、電気・ガス・水道・健康保険・介護保険が値上がりする中、毎年同じ生活をしていても家計が苦しくなり続けているのです。

再生の鍵はコロナ禍で経済が低迷している現状を乗り越える仕組みを創るしかありません。条例であれ、施策であれ今、今行政がやるべきは明確な筈です。今必要な施策をしない事は町長・議員は町民の付託を裏切る背信行為と云えます。地域の信任を得ての地位に有る訳ですから、良識ある先人として後進に尊敬れる、大人の行動を期待します。

## 緊急提言・庁舎立替延期

リーマンショック以降、デフレ不況が続くなか、コロナ禍で益々経済が低迷しています。町民の生活を守る立場の森執行部の焦眉の急は経済対策・住民生活優先を考えるべきで、庁舎立替はコロナ禍が落ち着いてから改めてすすべき。幸い、両神庁舎に全機能が収納されたのだから困っている訳ではない。森町長は「コロナ不景気に関係なく庁舎立替は進める」と議会で発言したが、住民生活・企業経営を無視した考え方は間違っている。財政調整基金33億円のうち5億前後は庁舎立替資金に使う予定だろうが、5億円有れば住民に5万円給付出来る。企業への水道料値上げの補助にも役立つ。そもそも、財政調整基金は住民の貯金で有ることを理解

しないで自分の金だと考えている様な行為は「住民の財布に勝手に手を突っ込む」ような詐欺行為・背任罪・職権乱用であり、町長を支持する議員は共犯であると考えています。議会工作「賛成議員の取り込み」する前に住民に必要性を丁寧に説明するのが道理です。私の私見ですが異論・反論が有るならば公開の場で、「この状況下で住民生活・企業活動を犠牲にしてまで、建築推進しなくてはならない根拠を示した上で説明」して頂きたいところです。合併債の期限は令和7年まで延長した訳ですから、社会通念上、急ぐ特別な理由は無いと思いますが、進めなければならない理由は個人的な利得と詮索します。潔白を証明すべきです

## 役場職員の育成資格取得制度化

自助・共助・公助が求められる昨今、最後の砦と云うべき役場職員が素人の集団では公共団体として機能しません。住民の信頼を職員が得るには、専門知識を身に付け即応できる能力が必要です。各部署で取得出来る資格取得を奨励し、資格者には手当を付ける必要が有ると思います。

## 職員採用年齢撤廃社会人の採用枠拡大

政治・行政は結果責任、即戦力も必要です。社会で経験値のある人材も住民との対応で有効と考えます。そこで、キャリアを積んだ人たちに地域貢献の機会を広く与え、学卒職員とのキャリアギャップを補完することで、より住民に寄り添った行政サービスが出来ると思います。現状の行政サービスでは満足していない住民が多いように感じます。

## 特色を生かした農福連携事業推進

小鹿野町は人口密度が低い一人当たりの土地面積が広い、一方で農林業従事者の人数が少ない現状です。稼げる農林業とは、単純に生産量を上げて、コロナショックで需要が激減したときは危険が伴い両刃の剣となりかねません。小鹿野名水・環境でしか生産出来ない農産物を提供出来れば良いと考えています。しかし、自然を生かした良質商品は手間が掛かり、人件費が悩みの種です。そこで、ゆっくり丁寧に作業が出来る障害者の方々の力を借り共同作業することで可能だと考えています。（例：長若きづな作業所&レストランぎゅうや）

## 無駄を省くだけで仕事・所得倍増

町の事情通ならご存じの通り行政の各サービス事業は、3割増しで予算が付く事が

多く、その無駄が使いきれないので財政調整基金（住民の貯金）として積み立てられている。その使い道は首長の判断で勝手に使われることが多くある。（例：秩父市庁舎立替）「住民の1/3の反対署名を無視し強行した。結果毎年3億円の建物管理費を支払いしている。」先進事例と称し前秩父市長の進め方を参考に森町長は庁舎立替を計画している。計画通りやっても総建設費の3割は無駄な税金投入になるだろう。今回の選挙で財政見直し論を説く新秩父市長が誕生し秩父広域組合をはじめとする今までの公共事業に関する闇が明らかにされ。公明正大な施策が執行される事を期待するところです。

## コロナについて免疫学の先生談

令和3年2月21日岡山理科大学ウィルス学研究センター長・獣医学博士の稲池憲一先生に新型コロナウイルスの講義を受けることができました。始まりから終息まで変異しながら時間を掛け季節性インフルエンザに収束していくそうです。只免疫力は個人差がありますから守るべき事項は  
1 ソーシャルディスタンス  
2 マスク会食・黙食  
3 こまめな手洗い・消毒  
収束には時間が掛かります。今までの前例主義的公務員思考を見直す時期だと考えます。

## 自己紹介 新井 富士男



昭和34年12月28日  
倉尾小学校・倉尾学校卒業  
県立小鹿野高等学校卒業  
上智大学イスパニアセンター  
慶応大学中退  
労働金庫晴海事務センター  
一部上場建設会社社長室  
証券会社営業部  
不動産会社営業部  
家族：一男一女  
住所：秩父郡小鹿野町藤倉  
2090番地  
携帯：090-1855-1408  
tel/fax:0494-78-0725  
編集/発行新井富士男後援会  
乱筆・欄間ご容赦下さい。